

広島共立病院広報誌
ネットワーク
夏号
2016 Summer
No.040

Network



ひまわり
向日葵の花言葉
「私はあなただけを見つめる」
「愛慕」「崇拜」

2016年度 新任 医師 紹介

2016年度4月に4名の医師が着任しました。全員実力派で、すでに大活躍してくれています。また、7月には広島大学原医研腫瘍外科教室の異動で、網岡医師に代わり坪川医師が着任いたしました。地域の先生方のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願いいたします。

広島共立病院 院長 村田 裕彦



リハビリテーション科 副院長 吉川 正三 (よしかわ まさみ)

この4月より、リハビリテーション科に勤務させていただくことになり、また7月より副院長を拝命いたしました。回復期リハビリテーション病棟専従で、脳卒中後遺症、運動器疾患等の患者さんを担当しております。患者さんは後期高齢者の方が大部分ですが、30歳代の若い方もおられます。当方は、諸般の事情により、昭和62年、35歳で広島大学を卒業し、直ちに母校の脳神経外科学教室に入局し、脳神経外科の研修を開始しました。54歳の時、勤務先の施設長の指示により、脳神経外科より離れ、回復期リハビリ病棟担当となりました。最初は、シブシブで、脳神経外科の知識で、回復期リハビリ病棟の患者さんは診れると慢心しておりましたが、間もなく、リハビリ医学に興味湧くようになり、逆に、自分のリハビリ医学の知識の貧弱さを痛感する事になりました。リハビリ医学に関与して、専門医の資格もなく、今後も継続するのは心苦しくなり、自分なりに勉強を始め、63歳でリハビリ専門医となりました。知的能力、体力は下降の一途ですが、関連スタッフ皆様方の協力を仰ぎながら、老人力で患者さんを診させて頂き、患者さんの在宅復帰への一助となればと願っております。



循環器内科 循環器内科医長 伊藤 尚志 (いとう なおし)

広島共立病院循環器内科の伊藤です。東邦大学医療センター大橋病院循環器内科で研鑽を積んでまいりましたが、本年4月に地元の広島に戻り広島共立病院に就職いたしました。不整脈疾患を中心に診療を行ってまいりましたが、冠動脈及び末梢動脈疾患に対するカテーテル治療や心不全治療等、循環器疾患全般に従事して参りました。患者さんやその御家族との説明や会話を大切に、入院中だけでなく退院後も良好な生活を送ることが出来るような診療を目指します。宜しくお願い致します。



循環器内科 内科病棟医長 秦 亮嘉 (はた よしひろ)

平成 28 年 4 月より広島共立病院に着任しました。平成 18 年に関西医科大学を卒業し、引き続き関西医科大学付属病院で循環器内科として研修を積んでまいりました。大学病院では主に心臓カテーテル治療、不整脈治療、心臓ペースメーカーなどを担当し、心臓超音波検査をサブスペシャリティとしておりました。救急治療にやりがいを感じており、広島共立病院は救急搬送も多く、救急搬送依頼を断らないという方針に魅力を感じ赴任を決めました。循環器領域にかぎらず幅広く救急医療に携われたらと考えておりますので今後とも是非お願い致します。

2016年度 新任医師紹介 (続き)



外科 坪川 典史 (つぼかわ のりふみ)

この度、7月より広島大学病院から転勤してきました卒後9年目の坪川 典史です。ここ数年間、呼吸器外科を中心に勤務しておりましたが、久しぶりに消化器外科として勤務することになります。やや不安な面もありますが、新しい環境で働けることを楽しみにしております。呼吸器外科での経験も活かしながら、新鮮な気持ちで頑張っていきたいと思っております。これからよろしくお願いたします。



内科 中村 晴菜 (なかむら はるな)

初めまして。消化器内科後期研修医3年目の中村晴菜と申します。出身は愛知県で、大学は愛媛大学を卒業し、愛知県の豊川市民病院で初期研修終了後、後期研修先に広島共立病院を選ばせていただきました。毎日いろんな職種の方々に助けていただき、学ばせてもらっています。職種間の垣根が低くフレンドリーなこの病院の雰囲気をととても気に入っております。まだまだ至らないことばかりで、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思っておりますが、色々学び少しでも出来ることを増やしてこの病院に貢献できたらいいなと思っております。今後どうぞ宜しくお願いします！



第17回 特別講演

「栄養サポートチーム(NST)の役割について」

日比野病院 脳ドック室長
NSTスーパーバイザー 三原 千恵 先生



三原 千恵先生

【栄養療法の重要性】 発症早期からの栄養管理が疾患の転帰の改善に有効であることは間違いない。近年普及してきたNSTについて、脳卒中を中心に解説する。

【食べるための PEG】 栄養投与は生理的なルートがのぞましい。静脈栄養、経腸栄養、経口摂取の中から、患者に最も適した栄養投与方法を決定する。ゴールは「安全かつ確実に楽しく食べること」であり、摂食嚥下訓練をスムーズに行うために「食べるためのPEG」を選択することもある。

【NST の役割】 脳卒中の急性期は治療が最優先され栄養管理がおろそかになりがちである。近年ではチーム医療の重要性が注目され、急性期からNSTが介入し栄養不良の予防や早期回復を目指した栄養管理が行われるようになってきた。早期の介入によって栄養管理がスムーズに行われ、安全かつ楽しい経口摂取が達成されることが望ましい。

第34回 安川河畔カンファレンス

34th YRC (Yasu Riverside Conference)



2016年6月8日に開催した
34th YRCのダイジェストをお届けします。

座長
外科 長嶺 一郎 医師

山登りと私の健康

広島共立病院 小児科部長 東 浩一 医師



仕事が忙しく、運動もほとんどせず、食って寝る、という生活を続けていたら、健診でひっかかってしまった。肥満、高血圧、糖尿病、いわゆるメタボリック症候群である。

そこで、一念発起して、食生活を改め、ひたすら歩くことをはじめた。ほぼ毎日、夕方から近くの山に登り、日曜日などは、病棟の回診を終わらすと、夕方までひたすら歩いた。

その結果、体重も減り、血圧も下がり、血糖値も正常化した。体重が減ると更に歩きやすくなり、今では、毎週、白木山に登り、年、1、2回、テントを担いで日本アルプスに登っている。健診でひっかかり、一度は絶望の淵に落ちたが、生活習慣を悔い改めて立ち直った。このことは多くの人に知らしめたいし、また、生活習慣病で闘病中の人の心に一条の希望の光を差し込ませることができれば、と思うこの頃である。



当科で治療した腫瘍非触知乳癌症例の検計

広島共立病院 外科 副院長 高永甲 文男 医師



2004年1月より2016年4月に当科で診断治療した原発乳癌症例は372症例で、そのうち腫瘍非触知94症例であった。病期分類では、0期:33%、I期:63%、II期:2%、III期:2%、IV期:0%であった。発見契機は、検診:53%、定期検査等:17%、対側乳房腫瘍検査時:15%、他症状:4%、CT:4%、乳頭分泌:4%、腋窩リンパ節転移:2%であった。病理組織型は、非浸潤癌:32%、非浸潤癌+微小浸潤癌:17%、浸潤癌:51%であった。MMG所見は、カテゴリー1・2:46%、3:33%、4・5:20%で検知率:54%あった。エコー所見は、カテゴリー1・2:8%、3:17%、4・5:75%で検知率:92%であった。細胞診は、クラスI・II:4%、III:6%、IV・V:90%で検出率:95%であった。施行手術内容は、乳房温術:80%、全切除術:20%であった。腋窩リンパ節転移陽性:9.2%であった。術後再発率:0%、乳癌による死亡1例(初診時に腋窩リンパ節転移腫大あり)、他病死2例であった。以上より、腫瘍非触知乳癌は、触診とMMGだけでは43例(46%)が乳癌と診断できず、エコー検査が必要であった。術後成績は再発率0%、死亡率1%と良好であった。



熊本地震被災地支援 ~広島JMATとして~

広島共立病院 院長 村田 裕彦 医師



JMATとは日本医師会災害医療チーム“Japan Medical Association Team”の略称。日本医師会からの要請に応え、広島県医師会から第一班として阿蘇地域に出動した。チーム構成は、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、事務各1名。阿蘇地域には医療班の調整機構として阿蘇地区災害保健医療復興連絡会議(ADRO)があり、その指揮下で活動した。急性期の医療ニーズは縮小傾向で、残る課題は感染症対策の継続と深部静脈血栓症(DVT)であった。5月1日は西原村での車中泊調査、5月2日~4日は南阿蘇村での車中泊調査とDVT検診に関わった。これからも災害に備えて災害対策のPDCAサイクルを回していくことが重要である。



診療案内
(2016年7月版)

第2・第4土曜日を休診にさせていただきます。 **予約制** とは事前予約が必要です。 **予約可** とは予約無しでも受診可能です。

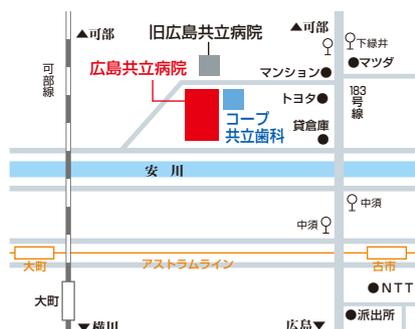
	診療開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土
健診	(市・被爆者・協会けんぽ等各種健診、人間ドック他) ①乳がん検診	午 前 予約制	桑原 ①青木	桑原 ①青木	佐藤 ①青木	桑原 ①青木(8/6休診)	桑原 ①青木	1.3.5週 古江 ①青木
		午 後 予約制	青木		午後 佐藤	桑原		
禁煙支援外来 被爆者外来	健診センターにて (担当医 青木)	再診のみ 予約制	午後 青木	2時～健診外来				
内 科 (当院に初めて受診される方は、予約制ではありません)	午前9時～11時30分	初診(再診) 予約可	山田・伊藤 野田	甲斐・大谷 山田	山田・久保田 中村(晴)	大谷・久保田 中村(真)	大谷・山田 秦	1.3.5週 門前・鷹屋 山田・中村(晴)
		一般総合内科 予約制	大谷					
		循環器内科 予約制	鷹屋		鷹屋・村田		村田	
		呼吸器内科 予約制		木山				
	午後5時～6時30分 (定期通院されている 予約の方のみ)	消化器内科 予約制	三田尾	加太・西原	三田尾	西原	ウオン	1.3.5週 ウオン
		糖尿病内科 予約制	森下		森下		森下	1.3.5週 森下
		呼吸器内科 予約制				木山		
		循環器内科 予約制				鷹屋		
脳神経内科	午前9時～11時30分	予約制	祢津					
精神科	午前9時～11時30分	予約制				山本		
緩和ケア内科	午前9時～11時30分	予約制			本家		加太	
	午後1時30分～4時30分							
リハビリテーション科	午前9時～11時30分	理学・作業・言語・ 物理の各療法	○	○	○	○	○	1.3.5週 ○
	午後1時30分～4時30分		○	○	○	○	○	午後休診
外 科	午前9時～11時30分 ※第3土曜日 (予約のみ)高永甲	予約可	大田垣	高永甲 長嶺 坪川	高永甲	高永甲 大田垣	長嶺	1週 高永甲・長嶺 3週 大田垣 高永甲 5週 交替
	午後3時～4時30分						高永甲	午後休診
乳腺外科	午後2時～4時30分	予約可					舛本	
心血管外科	午前9時～11時30分/午後2時～4時30分	予約可				13.5週 田中 24週 片山 午後		1.3.5週 内田 午前
脳外科	午後2時～4時30分	予約制					広島大学	
整形外科	午前9時～11時30分	予約可	市川 中林・加藤	田中 森	森 白川	市川 田中・加藤	田中 中林	1週 田中・中林 3週 市川・森 5週 加藤・交替
	午後4時～6時30分			1.3.5週 市川 2.4週 加藤 中林		森 古田		午後休診
小児科	午前9時～11時30分	☐小児一般	☐東・友田	☐森下	☐東・友田	☐森下・友田	☐東・友田	☐15週 東・友田 ☐3週 森下・友田
	午後2時～3時	☐アレルギー 予約制	☐森下	☐2時～6時 東	☐2時～4時 森下	☐東	☐東	午後休診
	午後3時～4時30分	☐予防接種 予約制	☐森下・友田	☐3時～4時 森下	☐森下	☐東	☐森下	
	午後5時～6時	☐乳児健診 予約制						
午後0時30分～5時	☐カウンセリング 予約制	太田			太田	太田		
眼 科	午前9時～11時30分		中崎	金本		高本		
泌尿器科	午前9時～11時30分	(月)は午前9時30分～	広島大学	広島大学	山崎	広島大学	広島大学	1.3.5週 広島大学
	午後2時～4時30分	予約可		広島大学	山崎		山崎	午後休診
耳鼻いんこう科	午前9時～11時30分		大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	1.3.5週 大橋
	午後3時～4時30分		大橋			大橋	大橋	午後休診
皮膚科	午前9時～11時30分	9月～は午前休診						
	午後2時～4時30分	予約可			平川		岡本	
婦人科	午前9時～11時30分	初診(再診) 予約可	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	1.3.5週 三田尾
	午後2時～4時30分	子宮がん検診 予約制	三田尾	三田尾		三田尾	三田尾	

地域連携室だより

今年度より循環器ホットラインが稼働しております。胸痛・ショック・失神・動悸・息切れ・呼吸困難・気分不良などの症状がある患者さんがおられましたら、循環器ホットラインへご連絡ください。

**広島共立病院
オープンカンファレンス**

- ※会場は全て、広島共立病院 5階セミナールームです
- とき：2016年8月3日(水) 19:30～
- 内容：第18回特別講演「シンガポールにおける医療の現状」
- 講師：シンガポール家庭医療専門医 吉國 晋先生
- とき：2016年9月14日(水) 19:00～
- 内容：第35回安川河畔カンファレンス(YRC)3 演題



**広島医療生活協同組合
広島共立病院**

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20
TEL.082-879-1111(代)
URL <http://www.hiroshimairyo.or.jp>
E-mail kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp